

## 令和8年 年度始めご挨拶

戸沼岩崎建設株式会社 代表取締役社長 戸沼 淳



皆さんのおかげで、令和7年度も無事に終えることが出来ました。あらためて感謝申し上げます。国内では衆議院選挙の与党圧勝を受け、いろいろな政策や公共工事等の動きは大きく加速していくと期待しておりましたが、「力による現状変更」をめぐる世界的な混乱が起きており、物流・金融不安など、なかなか明るい未来を描き切れないうちです。

さて、国内では昨年岩手県、岡山県、愛媛県などで大規模な林野火災があり、8月には全国各地で線状降水帯による豪雨災害が発生、ここ道南でも大きな被害がおきております。また12月には青森県では震度6強を観測する大きな地震がありました。被災された方々に対しお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧復興を願うところです。今年で東日本大震災から15年が経ち、震災をきっかけに日本の災害対応は大きく変化しました。復興庁の新設や復興予算など政治力を背景に国を挙げて取り組んでおりますが、現況復旧や同規模の災害に耐える設備建設を目標としており、人口減や被災地に戻らない人など、現状の人口や産業の状況とアンバランスが生じており、インフラ維持費等が自治体の重い負担となっているケースがあります。現在の状況を受け入れ、合理的な復興計画、防災計画の立案と地域住民とのコンセンサス形成が重要になると思います。

当社におきましては、森林管理局、建設管理部、渡島総合振興局と多くの発注者様から工事表彰を頂きました。これもひとえに皆さんの努力と真摯に仕事に向き合う結果と誇りに思います。安全については、残念ながら休業災害が発生してしまいました。ゼロ災害を続けることは非常に困難な目標ですが、少しでも事故のリスクを下げるよう、現場全体、会社全体で目を配り、粘り強く取り組むことが必要とされます。今年度はぜひ、無災害を達成したいと考えています。完成工事高については、JRTTの完成工事の比率が大きいですが、目標を大きく上回りました。職員については十分な人数を配置できず、ご苦勞をかけておりますが、人員の増員に取り組んでおりますので引続きよろしくお願ひします。



最後に私事になりますが、先日、北大で工学博士の学位を頂いてまいりました。函館に戻ってから15年に渡って函館高専平沢教授と行



# 安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行

令和8年 4月15日



陽春号

<http://www.tonuma.com/>

第275号



ってきた「木製緊急仮設橋の研究と開発」の成果が認められたものです。研究に際しましては、当社職員、興伸工業の皆様にご多大なご協力を頂きました。あらためて感謝申し上げます。今回の学位取得ですが、普通であれば全く縁遠い世界のお話ですが、平沢教授が発表する論文に共著者として名前を加えていただき、また所属している土木学会木材工学委員会の皆様には、親身にご協力、ご指導を頂きました。あらためて人生における「縁」の大切さ、ありがたみを感じているところです。「縁あって」という言葉は松下幸之助さんの「道をひらく」からよく抜粋され、使われることが多い言葉ですが、皆さんにも現在出合っている「縁」に目を向け、これからの人生が豊かなものになるよう、一步踏み出してみたいかがでしょうか。新年度がみなさんにとって実りのあるものとなるよう祈念いたしまして新年度の挨拶といたします。

## 北海道森林管理局長賞 受賞

当社は北海道森林管理局が主催する2025年度治山・林道工事コンクールに於いて、奥尻島(幌内その3ほか2地区)災害関連緊急工事が局長賞を受賞しました。表彰式は2月26日(木)、札幌市内の北海道森林管理局庁舎で開催され、関口高士局長から表彰状が授与されました。また、現場代理人を務めた梅木義彦には、3月3日(火)、函館林業土木協会よりその功績を讃え記念品と表彰状が授与されました。



## 渡島総合振興局 優秀技術者等感謝状



3月5日(木)、渡島総合振興局による2025年度優秀技術者等感謝状贈呈式が渡島合同庁舎で開催され、奥地林道赤川線災害復旧工事で現場代理人を務めた澤田司土木部長に佐藤秀行渡島総合振興局長より感謝状が授与されました。

## 合同女性パトロール 赤川低区第1-1配水池更新工事

2月20日(金)、赤川低区第1-1配水池更新工事(戸沼岩崎・平谷折谷・紀の國・正栄JV 坂尻篤彦所長)において、函館市企業局・企業体・現場関係者の計11名で合同女性パトロールを行いました。戸沼岩崎建設の女性パトロール隊は2018年に結成され、本年で9年目を迎えます。

今回の合同女性パトロールは木村常務の挨拶から始まり、坂尻所長の工事概要の説明、続いて私たちからチェックリストの内容説明を行いました。その後、2班に分かれて現場を巡回。感染症対策や省エネ、休暇確保などについて活発な意見交換が行われ、有意義な時間となりました。「整理整頓の行き届いたきれいな現場」との評価が多く寄せられ、また、女性視点による具体的な改善・提案もあり、坂尻所長から「男性目線では気付かない点だった」と話がありました。今回得た気づきを今後の活動に活かしていきたいと思ひます。

(文責; 笹島知奈実、笹原忍)



## 令和7年度 函館総合建設高等職業訓練校 修了式

3月13日(金)、函館総合建設高等職業訓練校は、令和7年度の修了式を開催し、指導員や関係する建設企業の職員らが土木施工科第48期生7人と木造建築科第57期生1人の門出をを祝いました。戸沼淳校長が修了証書を、函館総合建設訓練



協会の小西義人会長が技能照査合格証書を修了生一人ひとりに授与しました。修了生8人を代表して当社の野村虹美さんが、指導員や関係者への感謝と今後の努力を誓う謝辞を述べました。

## 地域貢献 戸切地陣屋跡周辺清掃ボランティア

4月10日(金)、恒例となった興伸工業と合同で北斗市戸切地陣屋跡周辺の道路掃き、側溝清掃等の清掃ボランティアを行いました。今年度も函館工業高校のグラウンド整備や湯の川温泉花火大会後の清掃等の地域貢献活動に取り組みます。

